Panasonic®

エアコン配管材
スッキリダクト

取扱説明書（保管用）

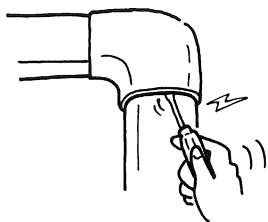
■ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。
■この取扱説明書は必ず保管してください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

⚠警告

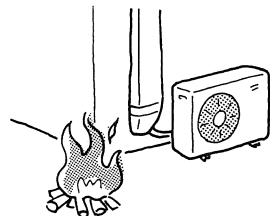
禁止

●スッキリダクトの分解・改造はしない
火災・感電・けがの
おそれがあります。

●お客様自身では、スッキリダクトを取り外さない
火災・感電・けがの
おそれがあります。

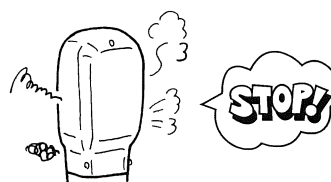
●スッキリダクトに洗剤などをかけない
火災・感電のおそれが
あります。

禁止

●スッキリダクトの近くで焚火など火気を扱わない
類焼または火災のおそれがあります。

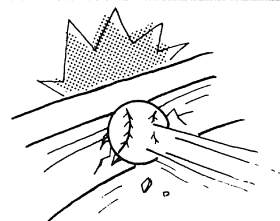
必ず守る

●万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のときは、速やかに電源を切って、電気工事店に相談する
守らないと、火災・感電・人体に害を与えるおそれがあります。

⚠注意

禁止

●スッキリダクトに衝撃を与えない
内部の被覆銅管や電線が破損または損傷し、機能不備となるおそれがあります。

パナソニック株式会社　パワー機器ビジネスユニット
〒571-8686　大阪府門真市門真1048番地　TEL.（06）6908-1131〈代表〉

DAS060W-T12
DC0808-20112

Panasonic® エアコン配管材
スッキリダクト

施工説明書

■施工前にこの施工説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
■取扱説明書を裏面に記載しておりますので、必ずお客様にお渡しください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

⚠警告

禁止

●本体を切断する場合に、回転ノコを使用する場合は、滑りやすい手袋をしない
けがをするおそれがあります。

●本体は平らな場所に置き、立てかけて輸送および保管はしない
倒れて、破損やけがのおそれがあります。

●本体は仮置時、不安定な立てかけをしない
倒れて、破損やけがのおそれがあります。

●スッキリダクトの改造はしない
火災・感電・けがのおそれがあります。

●スッキリダクトの近くで焚火など火気を扱わない
類焼または火災のおそれがあります。

必ず守る

●本商品は必ずエアコン配管用で使用する
守らないと、けがや事故のおそれがあります。

●本体を持ち運びするときは、周囲に注意する
守らないと、周囲の人に当たるおそれがあります。

●切断および施工時は、安全な足場を確保する
守らないと、転落するおそれがあります。

●壁の穴開け作業時にホールソーを使用する場合は、眼鏡などの保護具を使用する
守らないと、けがをするおそれがあります。

必ず守る

●本体を切断する場合は、眼鏡などの保護具を使用する
守らないと、けがをするおそれがあります。

●本体および付属品のベースは、確実に造営材に固定し、また、ベースとカバーも、確実に固定する
守らないと、外れて人に当たるおそれがあります。

●本体を切断した後は、ヤスリなどでバリを取り除く
守らないと、手指のけがや、ケーブルが傷つき、火災・感電のおそれがあります。

●カバーとベースの間に手を挟まれないようにする
守らないと、けがをするおそれがあります。

●本商品は、防水構造ではないため、内部に雨や水が溜まるおそれのある場合は、抜き穴を設けるなど水が抜けるようにする
守らないと、漏電や室内側へ水が入るおそれがあります。

⚠注意

禁止

●本体および付属品は合成樹脂製のため、ねじ固定の場合は、ねじ頭が商品にくい込んだり、ねじが空回りするまで締め付けない
ねじを締め過ぎると、変形や破損のおそれがあります。

必ず守る

●本体および付属品は合成樹脂製のため、周囲の温度が－20 ℃～60 ℃で保管する
夏場の炎天下、または高温の車内などに放置したりすると、変形のおそれがあります。

●施工時の周囲温度は、－20 ℃～60 ℃の範囲で行う
守らないと、商品の割れ、変形のおそれがあります。

必ず守る

●本体および付属品のカバーとベースは、かん合部を確実にはめ合わせる
守らないと、振動・衝撃などにより、外れて人に当たるおそれがあります。

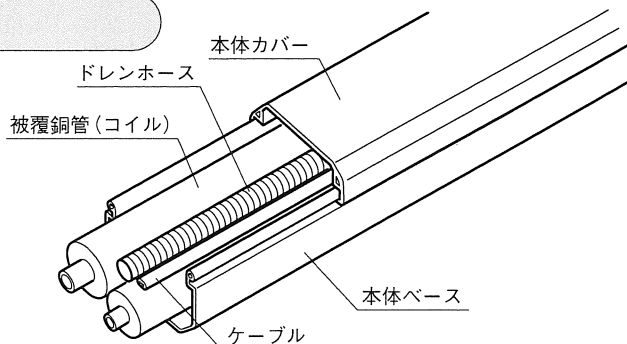
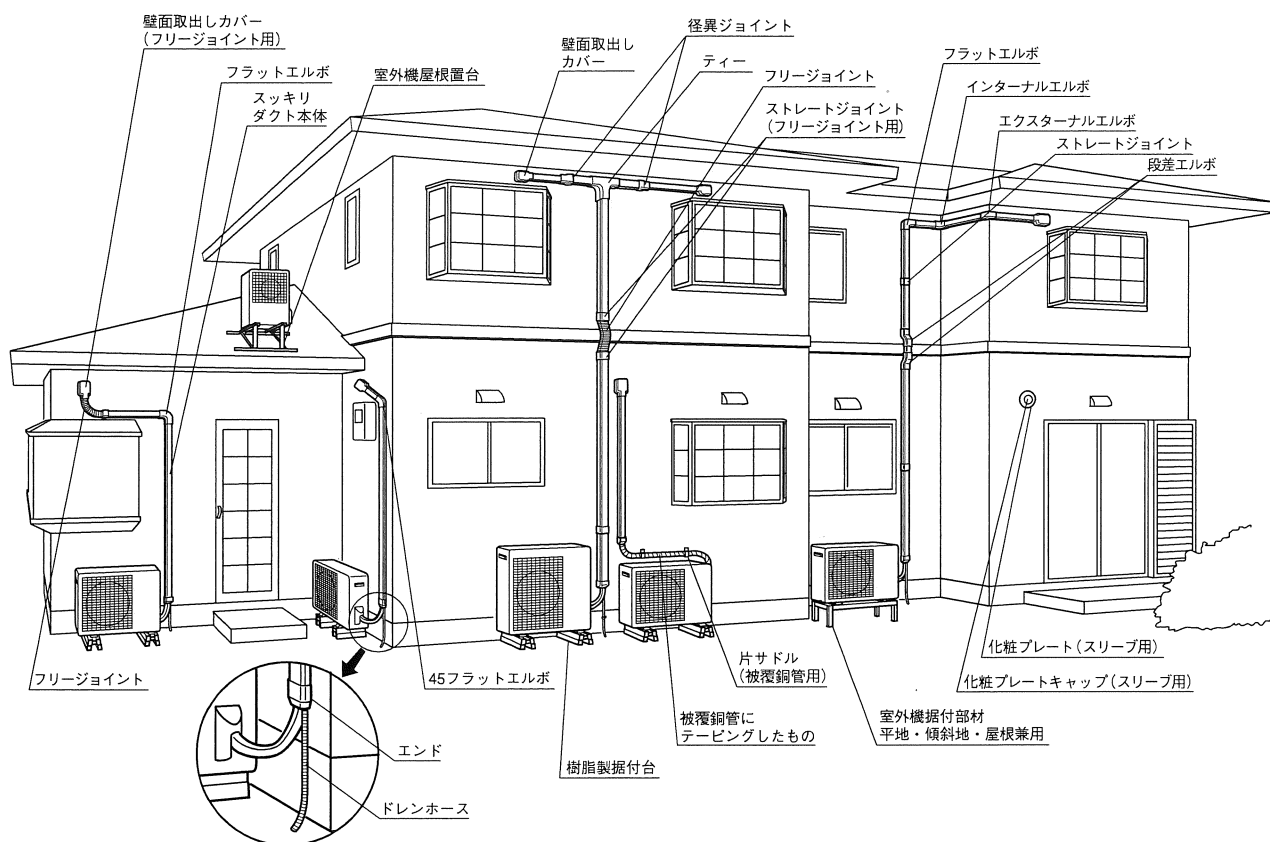
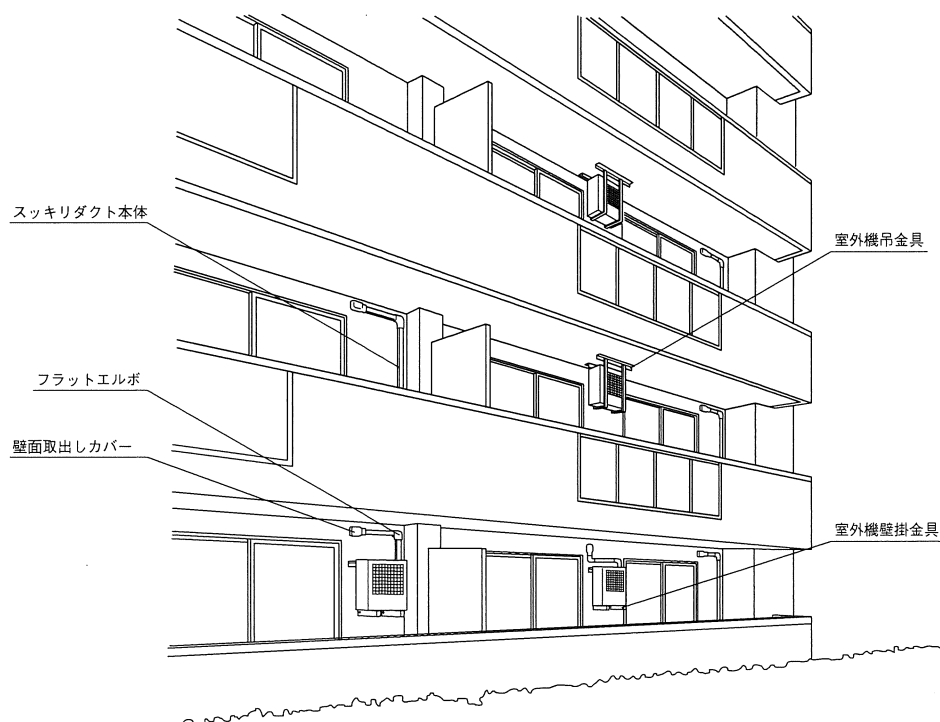
●本体の両端部は、必ず付属品で固定する
守らないと、本体カバーが外れ、人に当たるおそれがあります。

●太陽光が直接当る壁に本体を横引き配管する場合、本体ベースは50 cm間隔で造営材に固定する
守らないと、本体が大きく熱変形するおそれがあります。

各部の名称

本体・付属品の設置例

戸建住宅の場合

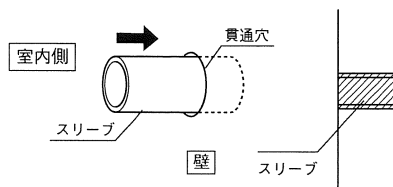
壁面取出しカバー（フリージョイント用）
フラットエルボ
スッキリダクト本体
室外機屋根置台
壁面取出しカバー
径異ジョイント
ティー
フリージョイント
ストレートジョイント（フリージョイント用）
フラットエルボ
インターナルエルボ
エクスターナルエルボ
ストレートジョイント
段差エルボ
フリージョイント
45フラットエルボ
片サドル（被覆銅管用）
化粧プレート（スリーブ用）
化粧プレートキャップ（スリーブ用）
被覆銅管にテーピングしたもの
室外機据付部材 平地・傾斜地・屋根兼用
樹脂製据付台
エンド
ドレンホース

集合住宅（マンションなど）の場合

本体・付属品の取り付け手順（室内側より、室外側へと順に施工してください。）

あらかじめ、ダクト取り付けの壁面レイアウトを決めてください。
（家屋に合う、スッキリとした配管になるように工夫してください。）

1 壁に配管用貫通穴を開ける

戸建住宅の場合　　集合住宅(マンションなど)の場合

2 貫通穴にスリーブを取り付ける

●壁内の絶縁、保護のため、スリーブを貫通穴に取り付けてください。

ご注意

- 壁の構造が漏電しやすいメタルラスや中空壁で、ねずみなどに制御ケーブルがかじられるおそれがある場合は、絶縁、保護のため必ずスリーブをご使用ください。

3 エアコン(室内機)本体の仮設置と配管の引き出し

戸建住宅の場合

集合住宅(マンションなど)の場合

ご注意

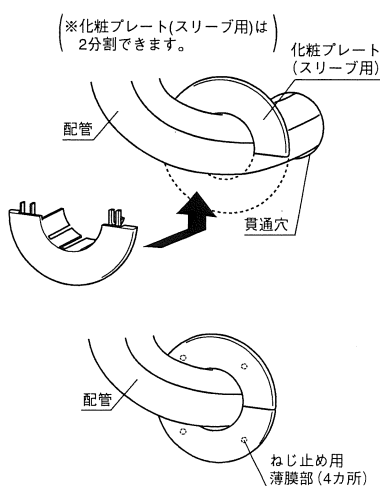
- 穴開け加工の際には、エアコン(室内機)の設置位置を設定し、内壁や、外壁の構造と壁内の障害物を確認して、穴開け加工を行ってください。
- スリーブの中でのドレンホースは、室内側が上で、室外側が下になるように施工し、水が流れやすいようにしてください。

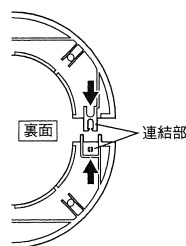
- 雨や水が入らないように貫通穴部にパテをつめ込んでください。
- 土壁にはコアドリルを使用せず、土をていねいに落とし、ノコギリなどで竹小舞などを切り取ってください。
- ALCには鉄筋が入っていますので、コアドリルを軽く押しながら徐々にあけてください。
- 適合コアドリルの径は次のとおりです。

型・呼び	適合コアドリル径		
	壁面取出しカバー(フリージョイント用含む) 壁面取出しカバーPタイプ	化粧プレート(ダクト用)	スリーブ・化粧プレート(スリーブ用)
60型	φ65 mm以下	φ83 mm	―――
呼び60	―――	―――	φ65 mm
呼び65	―――	―――	φ70 mm
呼び75	―――	―――	φ80 mm
80型	φ75 mm以下	φ100 mm	―――
100型	φ95 mm以下	φ120 mm	―――
140型	φ135 mm以下	φ160 mm	―――

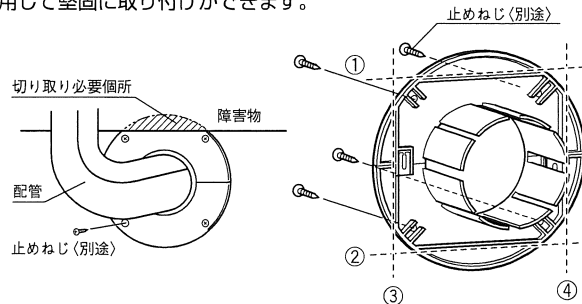
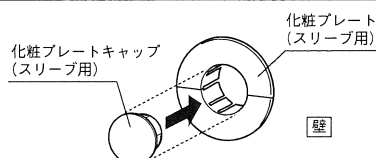
- 被覆銅管を巻き戻す場合、銅管をへこませたり、局部曲げをしないでください。
- 被覆銅管を切断する場合、銅管に対し直角に切断し、端面は面取りを行ってください。
- 被覆銅管を曲げ加工する場合、銅管をへこませたり、局部曲げをしないでください。

4 化粧プレート(スリーブ用)の取り付け

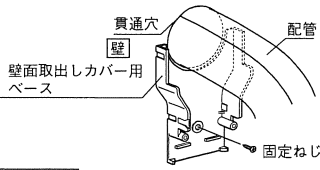
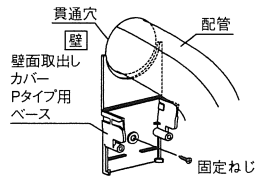
■室内側貫通穴に化粧プレート(スリーブ用)を取り付ける。

ご注意

- 化粧プレート(スリーブ用)の組立ては、裏面の連結部(2カ所)を矢印方向にまっすぐ挿入し、かん合させてください。

- 化粧プレート(スリーブ用)の取り付け時、ガタつきのある場合には、裏面のねじ止め用薄膜部(4カ所)を利用して止めねじ〈別途〉で固定してください。

貫通穴近くに障害物のある場合

■化粧プレート(スリーブ用)を取り付け時、近くに障害物がある場合は、4辺を折り取ることができます。さらに、止めねじ〈別途〉で薄膜部を利用して堅固に取り付けができます。

■セット後、すぐに配管しない場合には、防じん用として、化粧プレート(スリーブ用)に化粧プレートキャップ(スリーブ用)を取り付けます。

5 壁面取出しカバーまたは壁面取出しカバーPタイプのベース取り付け

■配管引き出し部に、壁面取出しカバーまたは壁面取出しカバーPタイプのベースを、固定ねじまたはプラグ〈別途〉で取り付ける。

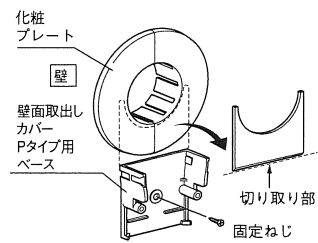
〈壁面取出しカバー〉

〈壁面取出しカバーPタイプ〉

ご注意

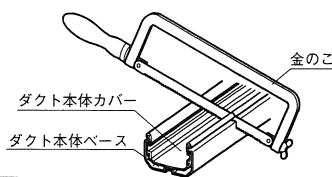
- 穴あけによる壁材の剥がれを補修して施工してください。
- 固定ねじは、壁または造営材に合わせて適切なものをご使用ください。
  固定ねじは下記の呼び径をご使用ください。
  小ねじ:M4　木ねじ:3.8～4.1　その他:4
- 鉄筋コンクリート壁や金属壁の場合は、プラグ〈別途〉を使用して固定してください。
- 固定ねじによる壁材のヒビ割れに注意してください。
- ベースは、壁または造営材に堅固に固定してください。

●化粧プレートが取りついている場合

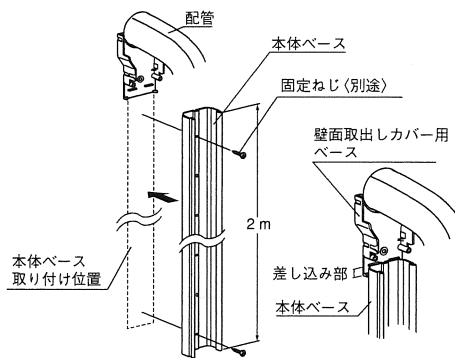
- ベースの切り取り部を切り取ってください。

■化粧プレートの最大収納サイズ

壁面取出しカバーPタイプ	化粧プレート	
	径	厚み
60型	φ120 mm	12 mm
80型	φ135 mm	15 mm

6 ダクト本体のベース取り付け

ダクト本体（カバー・ベース）の切断

ご注意

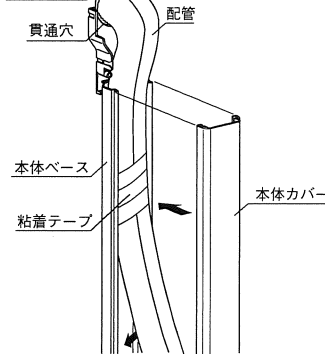
- 冬期などの寒い時期は、ダクト本体が割れるおそれがありますので、ダクト本体を暖めてから切断してください。
- ダクト本体の切断時、切り口にバリが発生した場合は、きれいに取り除いてください。
- カバーとベースが同じ長さになるように切断してください。

※カバーは、ベース内に納まります。

本体ベースの固定

ご注意

- 本体ベースは、2カ所以上造営材に固定してください。
- 固定ねじ〈別途〉は、壁または造営材に合わせて適切なものをご使用ください。
  固定ねじ〈別途〉は、下記の呼び径をご使用ください。
  小ねじ：M4
  木ねじ：3.8～4.1
  その他：4
- 鉄筋コンクリート壁や金属壁の場合は、プラグ〈別途〉を使用して固定してください。
- 本体ベースは、壁または造営材に堅固に固定してください。
- 本体ベースの端末を、壁面取出しカバー用ベースの差し込み部へ、確実に突き当ててください。

7 本体ベースに配管を収納し、カバーする

- 配管に部分テーピングし、貫通穴内でドレンホースが持ち上がらないように、本体ベースへ収納します。その後、本体カバーを取り付けます。

ご注意

- 貫通穴内でドレンホースが持ち上がらないように施工してください。
- ドレンホースは、室内側が上で、室外側が下になるように施工してください。
- 配管を挟み込まないように、本体カバーを本体ベースに「パチン」と音がするまで確実にはめ込み、固定してください。
- 本体カバーとベースが堅固に取りついたか確認してください。

貫通部まわりの防水処理をする

ご注意

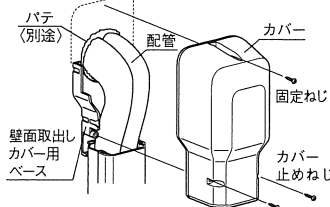
- 雨や水が入らないように貫通穴部にパテ〈別途〉をつめ込んでください。

■被覆銅管の最大収納サイズ

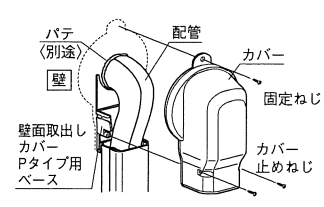
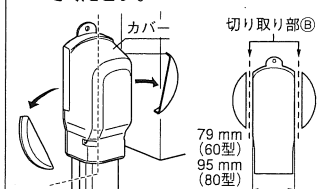
被覆銅管 断熱材厚み 液側	ガス側	スッキリダクト 60型	80型	100型	140型
8 mm	10 mm	※φ6.35-φ9.52 ×1組	※φ9.52-φ15.88 ×1組	※φ6.35-φ9.52 ×2組	※φ6.35-φ12.7 +φ9.52-φ15.88
8 mm	20 mm	――	――	※φ9.52-φ19.05 ×1組	――
10 mm	10 mm	――	――	φ19.05-φ22.22 ×1組	――
10 mm	20 mm	――	――	――	φ19.05-φ31.75 ×1組
20 mm	20 mm	――	――	――	φ19.05-φ31.75 ×1組

注）管サイズφ6.35と、φ9.52の断熱材の厚みは8 mmです。
※印については当社で品揃えしております。

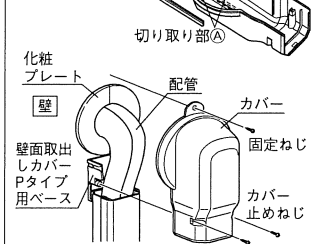
8 壁面取出しカバーまたは壁面取出しカバーPタイプの取り付け

〈壁面取出しカバー〉

ご注意

- 固定ねじは、壁または造営材に合わせて適切なものをご使用ください。固定ねじは、下記の呼び径をご使用ください。
  小ねじ：M4
  木ねじ：3.8～4.1
  その他：4
- 鉄筋コンクリート壁や金属壁の場合は、プラグ〈別途〉を使用して固定してください。
- 配管を挟み込まないようにカバーをベースに確実にはめ込み、止めねじで固定してください。
- カバーとベースが堅固に取りついたか確認してください。

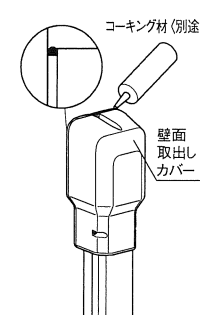
〈壁面取出しカバーPタイプ〉

●配管引き出し部近くに傷害物などのある場合

- カバーの切り取り部Ⓑを切り取ってください。

●化粧プレートが取りついている場合

- カバーの切り取り部Ⓐを切り取ってください。

ご注意

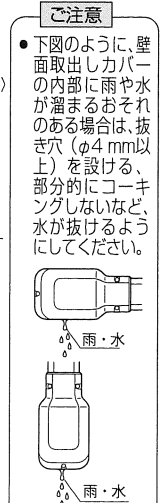
- 取り付け状態が不安定な場合は、カバーの薄膜部（2カ所）を利用して、止めねじ〈別途〉で固定してください。

カバーまわりをコーキングする

※きれいに仕上るコーキング溝付き。

ご注意

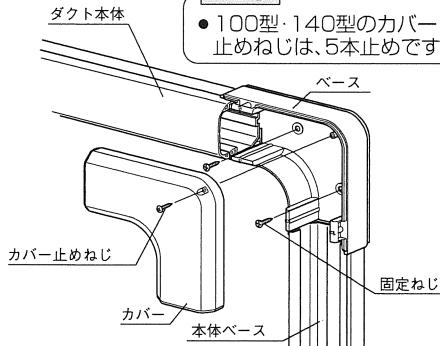
- 雨や水が入らないようにカバーまわりをコーキングしてください。

ご注意

- 下図のように、壁面取出しカバーの内部に雨や水が溜まるおそれのある場合は、抜き穴（φ4 mm以上）を設ける、部分的にコーキングしないなど、水が抜けるようにしてください。

9 現場に合わせた各部材の取り付け方法(下図は、60型・80型の例です。)

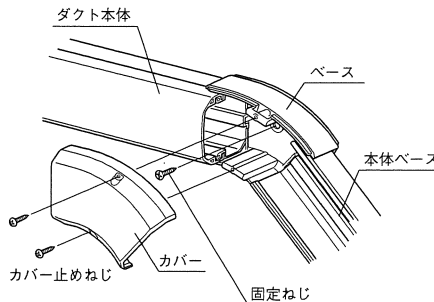
平面90°曲りの場合

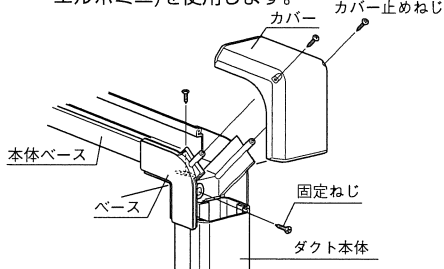
● フラットエルボ(フラットエルボミニ)を使用します。

ご注意
● 100型・140型のカバー止めねじは、5本止めです。

平面45°曲りの場合

● 45フラットエルボを使用します。

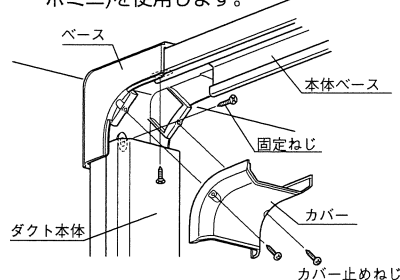
ご注意(各部材共通)

● 本体ベースの端末は、各部材の差し込み部へ確実に突き当ててください。
● カバー取り付け時、「パチン」と音がするとベースにかん合しています。
● ミニタイプおよび100型・140型は、差し込み仮止め方式です。
● 固定ねじは、壁または造営材に合わせて適切なものをご使用ください。固定ねじは、下記の呼び径をご使用ください。
小ねじ：M4
木ねじ：3.8〜4.1
その他：4
● 鉄筋コンクリート壁や金属壁の場合は、プラグ<別途>を使用して固定してください。
● ベースは、壁または造営材に堅固に固定してください。
● カバーは、カバー止めねじで確実に固定してください。

立面90°外曲りの場合

● エクスターナルエルボ(エクスターナルエルボミニ)を使用します。

立面90°内曲りの場合

● インターナルエルボ(インターナルエルボミニ)を使用します。

各部材のカバーの取り外し方

①ベースを両側から押し込む。
②カバーを外す。

ダクト本体を直線で接続する場合

● ストレートジョイントを使用します。

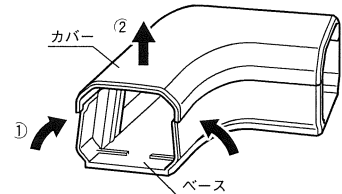
ご注意
● 100型・140型のカバー止めねじは、2本止めです。

異なるサイズのダクト本体を接続する場合

● 径異ジョイントを使用します。

取り付けできる本体相互

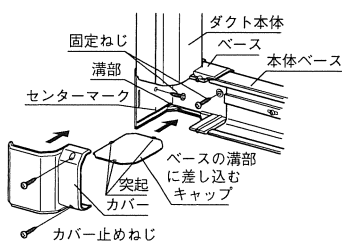
80型←→60型
100型←→60型
100型←→80型
140型←→100型

ご注意
● 100型-60型、100型-80型、140型-100型のカバー止めねじは、4本止めです。

ダクト本体をT型に分岐する場合

● ティーを使用します。

ご注意
● 100型・140型のカバー止めねじは、6本止めです。

90°ひねり曲りの場合

● ツイストジョイントを使用します。

● ダクト本体の取り付け壁面が違う場合のティーとしても使用できます。

ご注意
● ダクト本体を取り付けない側には、キャップを取り付けてください。
● キャップは、突起のある側が内側になるように取り付けてください。
● ダクト本体は、ベースのセンターマークを参考に取り付けてください。

壁面に障害物のある場合

● 段差エルボまたはフリージョイントを使用します。

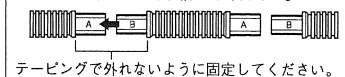
<段差エルボ>

本体ベース
ベース
障害物
〜50mm
障害物高さ
本体カバー
本体ベース
カバー
固定ねじ
ベース
カバー止めねじ
本体ベース
本体カバー

<フリージョイント>

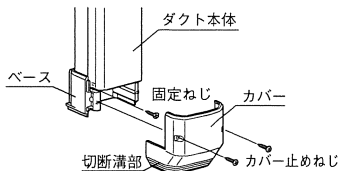
■フリージョイント

型	長さ(mm)	障害物高さH(mm)
60	644	110
	1000	
80	644	
	1000	
100	800	50
140	800	

※フリージョイントは、端末相互を差し込み連結することができます。障害物の長さに合わせて、フリージョイントを接続してください。

テーピングで外れないように固定してください。

ご注意
● フリージョイントを使用する場合は、必ず配管を先に通してください。
● フリージョイントが外れないように、ストレートジョイント(フリージョイント用)などの付属品ベースとカバーは確実に固定してください。
● 外れるおそれのある場合は、フリージョイントの長尺タイプをご使用ください。

ダクト本体の端末を化粧する場合

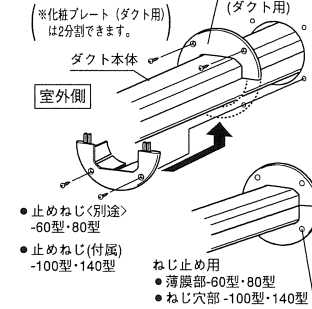
● エンドを使用します。

ご注意

● エンドの端末は、配管のサイズに合わせて切断溝部を金のこなどで切断してください。

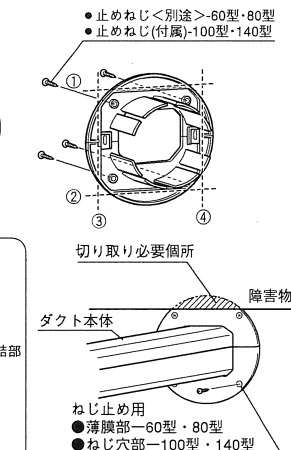
ダクト本体が壁貫通の場合

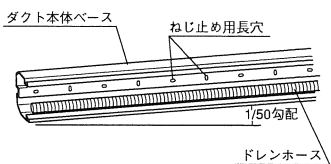
● 化粧プレート(ダクト用)を使用します。

貫通穴近くに障害物のある場合

● 化粧プレート(ダクト用)を取り付け時、近くに障害物がある場合は、4辺を折り取ることができます。さらに、止めねじで堅固に取り付けができます。

● 止めねじ〈別途〉-60型・80型
● 止めねじ(付属)-100型・140型

① ② ③ ④

切り取り必要個所
障害物
ダクト本体
ねじ止め用
● 薄膜部—60型・80型
● ねじ穴部—100型・140型

ダクト本体の横引き施工時のご留意点

● ダクト本体の横引き工事をする場合には、1/50以上のドレン用勾配をとり、ドレンホースをまっすぐに収納してください。

※ねじ止め用長穴で本体ベースの上下・左右の取り付け位置が微調整できます。

● 太陽光が直接当る壁に本体を横引き配管する場合、本体ベースは50 cm間隔で造営材に固定してください。(本体が大きく熱変形する原因となります)

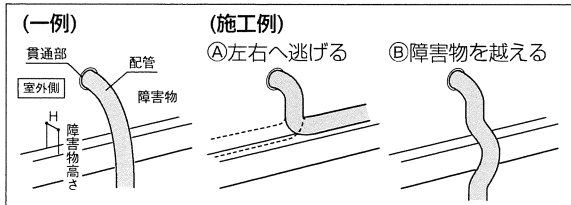
ご注意

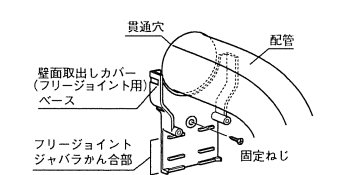
● 化粧プレート(ダクト用)の組み立ては、裏面の連結部(2カ所)を矢印方向にまっすぐ挿入し、かん合させてください。
● 60型・80型で化粧プレート(ダクト用)の取り付け時、ガタつきのある場合には、裏面のねじ止め用薄膜部(4カ所)を利用して止めねじ〈別途〉で固定してください。
● 100型・140型で化粧プレート(ダクト用)の取り付け時、ガタつきのある場合には、取り付け用のねじ穴があいていますので、止めねじ(付属)で固定してください。

裏面　連結部

ご注意

● 雨や水が入らないように貫通穴部にパテ〈別途〉をつめ込んでください。

配管引き出し部近くに、障害物などのある場合〔壁面取出しカバー(フリージョイント用)とフリージョイントを使用してください。〕

①壁面取出しカバー(フリージョイント用)のベースを取り付ける。

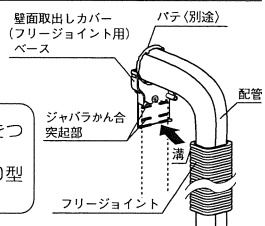
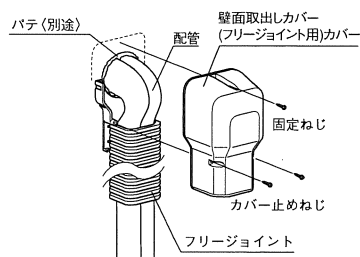
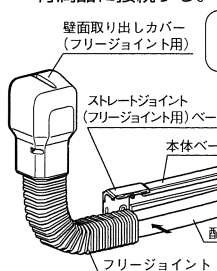
②必要長さに応じてフリージョイントのジャバラ部で切断してください。

■フリージョイント

型	長さ (mm)	障害物高さ H (mm)
60	644	110
	1000	
80	644	
	1000	
100	800	50
140	800	

③フリージョイントを配管に通してください。

④壁面取出しカバー(フリージョイント用)ベースのジャバラかん合突起部に、フリージョイントの溝をはめて固定する。

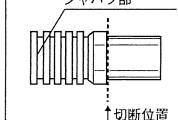
ご注意

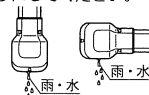
● 雨や水が入らないように貫通穴部にパテ〈別途〉をつめ込んでください。
● 壁面取出しカバー(フリージョイント用)の100型・140型はありません。

⑤カバーを取り付ける。

⑥フリージョイントを曲げ、ストレートジョイント(フリージョイント用)または付属品に接続する。

ご注意

● 雨や水が入らないように、壁面取出しカバー(フリージョイント)のまわりをコーキングしてください。

ご注意

フリージョイントジャバラ部
切断位置

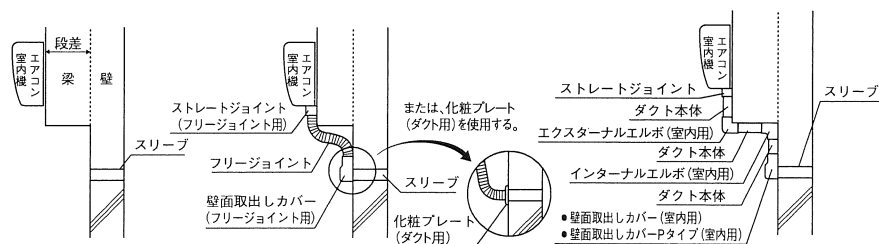
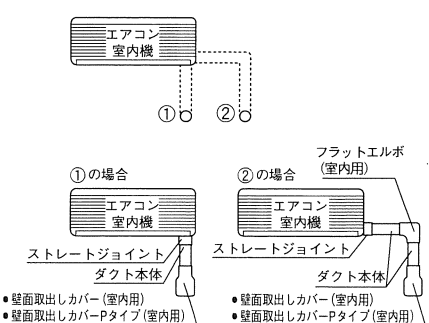
● フリージョイントを他の付属品に接続する場合は、左図の位置で切断してください。
● フリージョイントが、付属品から外れないように充分に差し込んでください。

ご注意

● 下図のように、壁面取出しカバー(フリージョイント用)の内部に雨や水が溜まるおそれのある場合は、抜き穴(φ4 mm以上)を設ける、部分的にコーキングしないなど、水が抜けるようにしてください。

10 集合住宅(マンションなど)の室内側の取り付け

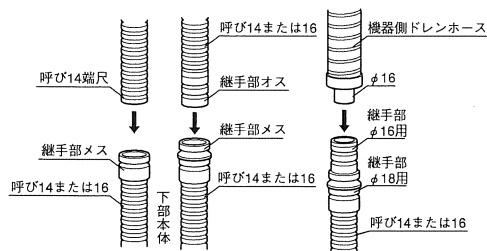
■貫通穴が左右または、下方にある場合

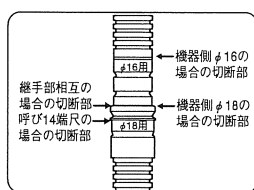
■壁に梁などの段差がある場合

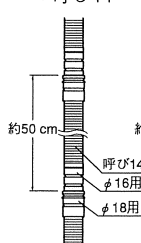
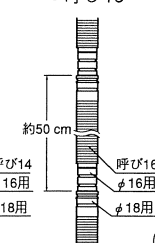
● フリージョイントで、下記のように施工してください。

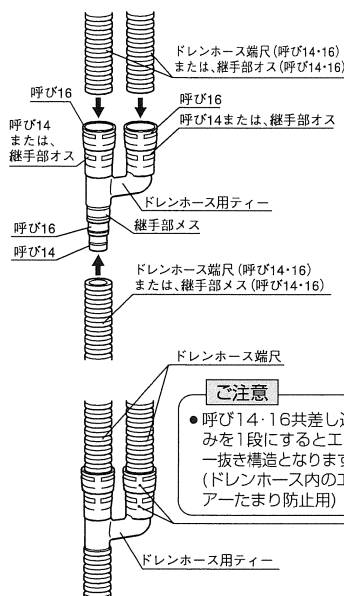
● ダクト本体で施工する場合

11 ドレンホース・付属品の使用方法

■ドレンホース相互の接続

● ドレンホースは、継手部(約50 cm単位)で接続ができ、呼び14は端尺でも接続できます。

ご注意

● 接続する場合は必ず、下部本体の接続口が外側(継手部メス)になるようにしてください。また、接続部にはテープで、抜け止め、水もれ防止処理を行ってください。

ご注意

● 切断面のバリはきれいに除去してください。

■ドレンホース用ティーの接続

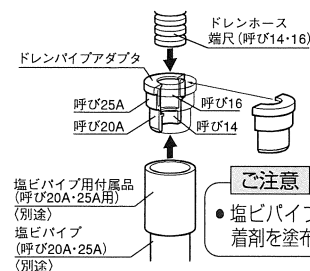
● 2本のドレンホースを1本にする部材で、呼び14・16のどちらでも接続できます。

ご注意

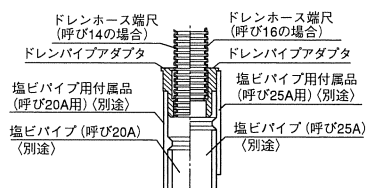
● 呼び14・16共差し込みを1段にするとエアー抜き構造となります。(ドレンホース内のエアーたまり防止用)

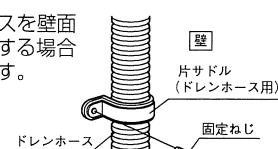
ご注意

● ドレンホース用ティーおよびドレンパイプアダプタは、縦配管でご使用ください。

■ドレンパイプアダプタ

● ドレンホース(呼び14・16)と塩ビパイプ(呼び20A・25A)が接続できます。

ご注意

● 塩ビパイプとの接続には接着剤を塗布してください。

■片サドル（ドレンホース用）

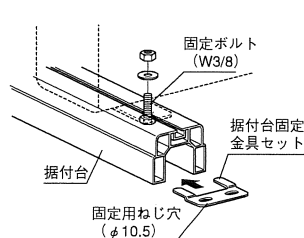
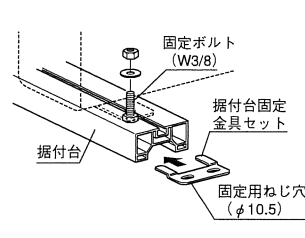
● ドレンホースを壁面などに固定する場合に使用します。

ご注意

● ドレンホースが外れたり、回転しないように片サドル（ドレンホース用）をしっかり押えながら、堅固にねじ止めしてください。

12 エアコン(室外機)用据付台の取り付け

■据付台(樹脂製)／据付台固定金具セット／防振パット

● 1型・2型

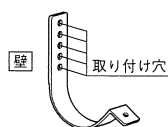
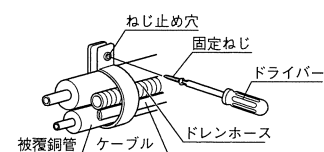
● 3型

※据付台（金属製）は、別途ご用意しております。

ご注意

● エアコン(室外機)の振動対策には、防振パットをご使用ください。

支持部材の取り付け

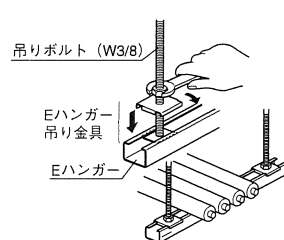
片サドル(被覆銅管用)

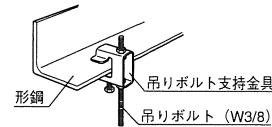
①被覆銅管、ドレンホース、ケーブルなどに合わせて取り付け穴を決める。

②部材を通し、付属の固定ねじをねじ止め穴にセットし、ドライバーで締めつける。

ご注意

● 別途固定ねじをご用意される場合は、下記の呼び径をご使用ください。
小ねじ：M4・木ねじ：3.8〜4.1・その他：4

吊り金具部材の取り付け

■Eハンガー／Eハンガー吊り金具

● Eハンガーに吊りボルト(W3/8)を吊るす場合に使用します。

■吊りボルト支持金具

● 形鋼から吊りボルトを下げ、Eハンガーを吊るす場合に使用します。

品番	ボルト締付トルク	許容静荷重
DB51A	3.92N・m	490N
DB61A	5.88N・m	588N
DB62A	5.88N・m	588N
DB62D	5.88N・m	1176N